

日本教育大学協会
各会員大学長・学部長 殿

日本教育大学協会長
出口利定
(公印省略)

平成29年度日本教育大学協会研究助成の公募について（通知）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本協会では、別添の公募要領のとおり研究助成の公募を行うことになりました。

つきましては、各会員大学・学部の関係各位に周知し、とりまとめのうえ、平成28年12月8日（木）までに申請願います。

なお、平成29年度の公募から次の見直しを行っております。

（1）研究期間を、研究開始年度の4月1日から1年間又は2年間とすること。

（2）研究成果の概要等を日本教育大学協会ホームページで公開することを応募の要件とすること。

公募枠は、従来どおりのA. 一般公募枠とB. 若手研究者枠とし、若手研究者の優先枠を設けてあります。別添の公募要領を参照のうえ、所定の様式にて申請願います。

【研究助成の公募枠】

A. 一般公募枠（応募資格を有する複数の教員による研究）

1件100万円を限度とし、5件程度を採択します。下記の4つのカテゴリと重点テーマを設定しました。申請に際しては、カテゴリ区分を明記されますようお願いいたします。

カテゴリ		重点テーマ
I	学士及び大学院課程の教員養成に関する研究	・教員養成教育の質保証に関する研究、教職課程コアカリキュラムに関する研究 ・アクティブ・ラーニングへの取組、小学校外国語教育、道徳教育に関する研究
II	附属学校園に係る教育研究	・附属学校園の機能・役割（教育実習、現職教員に対する研修、研究開発等）の充実にに関する研究
III	地域と大学との連携・協働に関する研究	・教育委員会と大学の連携協力に関する研究（現職教員に対する研修等）
IV	今日的課題に関する研究	・高大接続改革（教員養成における個別入試の在り方）、チームとしての学校に関する研究等

B. 若手研究者枠（平成29年4月1日現在39歳以下の応募資格を有する複数の教員による研究で、研究代表者及び研究分担者のすべてが年齢の範囲内であること。）

1件50万円を限度とし、1件を上限に採択します。申請に際しては、研究代表者及び研究分担者の平成29年4月1日現在の年齢及びカテゴリ区分（A. 一般公募枠と同じ）を明記されますようお願いいたします。

【応募に関する注意点】

- ・ 応募資格を有する複数の教員による研究であることが要件です。単独又は応募資格のない者を含む共同研究による申請は認められません。
- ・ 多くの方に広く助成をするという観点から、平成26年度以降（過去3年以内）に採択された研究代表者及び研究分担者は応募することができません。
- ・ 研究期間は、平成29年4月1日から1年間又は2年間とします。2年間で採択された場合、研究費は初年度にまとめて配分します。なお初年度終了後、実施状況報告書(様式4)にて、経過報告をしていただきます。
- ・ この研究の成果について、研究代表者及び研究分担者の氏名・所属・職名、研究課題名、研究期間、研究成果の概要が日本教育大学協会ホームページで公開されるとともに、研究成果報告が研究期間1年間の場合は、平成30年度の『日本教育大学協会研究年報』に、研究期間が2年間の場合は、平成31年度の同研究年報に採録されます。
- ・ 審査にあたっては、教育系大学が行う研究として相応しいものという観点から行います。